未来の吉祥寺のまちづくりを見据え、既存施設を解体し暫定施設・広場の整備へ

武蔵野公会堂の方向性検討を進めています

令和8年10月
市議会で協議

武蔵野公会堂の改修については、令和8年4月にイラン・中東情勢の悪化に伴う資材価格高騰や先行きの不透明さを踏まえて工事契約などの入札を中止しました。
その後、7月と10月の市議会全員協議会では、休館の長期化を防ぎ、吉祥寺パークエリアのまちづくりに与える影響を最小限とするため、当面の方向性について協議しました。

当面の方向性検討

- 7月の全員協議会で10案を提示。
- 10月の全員協議会では、10案のうち「既存施設を解体して暫定施設と広場を設置する案」を基に、具体的な方向性を3案提示。
- 既存施設を解体し、暫定施設と広場を整備する方向で早期に「武蔵野公会堂改修等基本計画」の改定を行う。

休館中の措置

- 現施設は老朽化が進んでいることから、危険防止のため仮囲いを設置する。



武蔵野公会堂 現施設